



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL.045(440)3210 FAX.045(440)3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

発行人/会長 小澤 俊通

編集人/神私幼総務部(広報室)

発行/年3回

発行部数/1700部



好評につき追加募集決定！

この機会に知識と親睦の輪を広げてみませんか

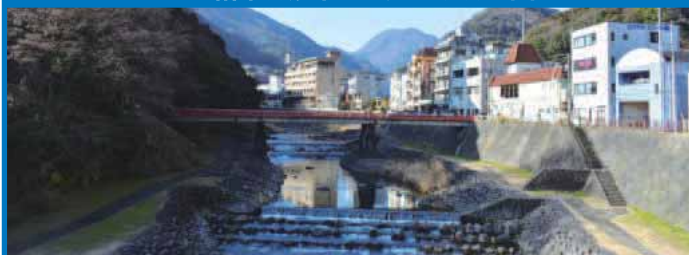
令和元年度 幼稚園教育経営研修会

テーマ 「幼児教育無償化・今後の園経営に新たな展望を開く！」

- 基調講演 「これからの幼児教育の展望」(仮)
講師 文部科学省初等中等教育局幼児教育課長 森友浩史氏
- 特別講座 「箱根の山は生きている！40万年の噴火の歴史」
講師 神奈川県立生命の星博物館館長 平田大二氏

日時/令和2年1月26日(日)~27日(月)

場所/箱根湯本温泉 天成園



ご応募締め切り(12月20日(金))に延長

参加をご希望の際は、県連事務局にご連絡下さい。TEL.045-440-3210

2-3

少子化時代を乗り越えて、
私立幼稚園は次のステージへ進もう

●公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤俊通

ご存知ですか「賛助会員」制度
～賛助会員は県連の応援団～

4-5

研修事業部・研究部 活動報告

若手後継者のための保育勉強会

外部視察 in広島 「～緑に囲まれ、伸び伸びと育つ～」

免許状更新講習「幼稚園ナビの活用を！」

6-7

令和元年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会研修大会
『コミュニケーションの大切さ、伝える力・聴く力
でもその前に、思い出して』

講師：安東 弘樹さん(フリーアナウンサー)

「第35回全日本私立幼稚園連合会設置者・園長全国研修大会」報告

「第33回関東地区代表者協議会」開催される

ケンタガーデン⑦

8

Pride of KANAGAWA/事務局からのお知らせ/研修会報告



少子化時代を乗り越えて、私立幼稚園は次のステージへ進もう

日頃より県連の活動や諸事業に対して、ご支援ご協力を頂いておりますことに、改めて感謝申し上げます。今年度の事業も、地区研究大会の開催や教育経営研修会など残り少なくなつてまいりました。どうぞ最後までよろしくお願ひ申し上げます。



公益社団法人
神奈川県私立幼稚園連合会
会長 小澤俊通

少子化の進展、幼児人口の減少が今後も見込まれております。今後25年間で、特に東北地方や山陰地方などで、3歳から5歳の幼児人口は半減すると言われております。大都市圏においても、幼児人口が2割以上減少することが予測されております。都道府県の中でも市町村によって減少率に差があり、それぞれの市町村の人口動態に対する注視が必要です。

各園とも園児の確保に努力されていることと存じますが、現状を維持することは益々難しい状況です。各園では1クラスの子園児数を少なくしたり、クラス数そのものを減らして対応されておられることと存じます。ある程度は経営努力でやり繰りできて、園児数の減少が続くと、幼稚園の存続そのものに大きな影響を与えることとなります。小規模でも運営できる支援体制の構築など様々な手法を駆使していかねばなりません。全国においては、既に減少の著しい地域では、認定こども園の移行率が高く、3歳未満児を受け入れることにより存続を図っている姿が見受けられます。地域における幼児教育の灯りをなくさないためにも、あらゆる経営手法をご検討頂きたいと存じます。

全日本私立幼稚園連合会においても、「少子化時代の私立幼稚園のグランドデザイン検討会議」を立ち上げました。私もメンバーの一員として参加しており、各園の経営に参考になるべく、「私立幼稚園の特色を生かしたサバイバルプラン」を提言としてとりまとめたいと考えております。

私たちが幼稚園を運営するにあたり、グローバルな視点も欠かすことは出来ません。世界は、これから新たなステージに進むと言われております。この頃よく聞く「ソサエティ5・0」という言葉に象徴される変化です。ソサエティ5・0とは、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と説明されています。人間社会は、狩猟・農耕・工業・情報と歩んでまいりましたが、これからは新しい時代を迎えます。英国の大学の予測では、現在の職業の47%はなくなり、米国の大学の予測では、今の子ども達の65%は、未知の職業に就くとされています。歴史に学び、過去の成功体験を生かすことも大切ですが、それだけではどうにもならない問題

が出てくると言われます。私達の目の前にいる子ども達は、そのような社会を構成する一員になるといえます。まさに人としての基礎を身に付け、しっかりと未来を託すことのできるように導くことが私達の責務ではないかと思ひます。

10月・11月は、県連会長としての出張が続きまして。佐賀県においては、全国私立学校審議会総会が開催されました。神奈川県からは、中高協会の工藤誠一先生（聖光学院中学校・高等学校校長）、私学振興課の松尾課長、認可グループの牛島GL（グループリーダー）と私の4名で参加して参りました。私は第2専門部会に参加して、「幼稚園の定員増の認可について」「幼稚園における満3歳児の取扱について」「幼稚園教諭免許の認定講習推進事業について」などを討議してまいりました。学校の認可を諮問する私学審議会の役割は益々増大しております。全国における様々な事例は大変参考になりました。

和歌山県においては、全日の設置者・園長全国研修大会が開催されました。詳細は池田副会長の報告に譲りますが、全国から440名の参加を得て、盛大に開催されました。私は、全日の副会長として、初日の運営委員会から出席し、2日目の研究講座ではパネラーも務めさせて頂きました。「研究講座・経営」においては、「働き方改革時代の就業規則を考える」をテーマとして、法令改正に伴う就業規則や人材確保・労務管理などを議論して参りました。

更に11月に入り、宇都宮での関東地区代表者協議会に参加して参りました。2年前には、神奈川県にて主管した協議会で、その時のことが懐かしく思い出されました。栃木県幼稚園連合会の皆様の温かいおもてなしを受けて、2日間快適に参加することが出来ました。神奈川県私立学振興課からは、助成グループの鎌倉GLにご参加頂き、各県の私学助成や新制度への支援など多くのことを学ばせて頂きました。今後様々な機会をとらえて、全国各地の私立幼稚園の最新情報をお伝えしたいと思います。

早いもので、今年のカレンダーも最後の一枚になりました。師走とは、先生方も走り回るほど忙しくなる月であると言われます。来年度に向けて、入園準備や人材確保、更には施設・設備への目配りなど、やるべきことが次から次へと押し寄せて参ります。10月から始まった「幼児教育・保育の無償化」へも、しっかりと対応していかなければなりません。

先生方にはくれぐれもお体をご自愛頂き、与えられた使命（ミッション）を果たして頂きたいと存じます。輝かしい未来を信じて、新しい年を迎えられるよう研鑽を積んでまいりましょう。どうぞ加盟園各位におかれては、今後とも幼児教育に邁進され、変わらぬ情熱を傾け、地域になくてはならない幼稚園として発展されますことを祈念申し上げます。

ご存知ですか「賛助会員」制度 ～賛助会員は県連の応援団～

賛助会員とは、私共、神奈川県私立幼稚園連合会の目的・事業に賛同し、推進頂いている個人又は団体の皆様です。所定の会費を納める事で、当協会の発行物や事業報告の受領、また主催する研修会・講演会等への参加が可能で、我々の事業を通じ幼児教育の現状について深く触れて頂けます。更に法人会員の皆様は、自社の発行物または名刺等に「賛助会員」の証となる下記ロゴマークを印刷できます。

本年12月現在で15の団体の皆様に入会頂いておりますが、今後も多くの賛助会員を広く募集します。



加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。
ぜひ県連事務局へご連絡下さい。

賛助会員協力企業

(掲載順は50音順)

株式会社アイコーメディカル

事業内容/給食
〒485-0803 愛知県小牧市高根1-200
Tel. 0568-78-0966

有限会社 石黒印刷

事業内容/印刷
〒232-0056 横浜市南区通町3-50-1 シティコープ弘明寺101
Tel. 045-713-0080

株式会社こどものとも横浜営業所

事業内容/教材・絵本
〒245-0003 横浜市泉区岡津町136-4
Tel. 045-410-9031

株式会社 写真のワタナベ

事業内容/写真撮影、アルバム制作
〒230-0001 横浜市鶴見区矢向 6-4-2
Tel. 045-572-9239

株式会社ジャクエツ

事業内容/遊具・教材
〒221-0865 横浜市神奈川区片倉 2-22-1
Tel. 045-481-7221

中越クリーンサービス株式会社

事業内容/AEDサービス
〒950-0073 新潟市中央区日の出3-4-15
Tel. 025-244-3131

株式会社ニシハタシステム

事業内容/IP無線機・緊急地震速報端末
〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野4341-9
Tel. 072-458-6090

株式会社ネエチア

事業内容/セキュリティ
〒252-1104 綾瀬市大上1-7-38
Tel. 0467-77-2222

ひかりのくに株式会社 横浜営業所

事業内容/保育用品、保育図書
〒223-0057 横浜市港北区新羽町648
Tel. 045-534-1521

株式会社フレーベル館 神奈川支社

事業内容/保育用品（絵本・教材・遊具・備品）
〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4485-1
Tel. 045-937-3421

株式会社みつばコミュニティ

事業内容/幼稚園バス運行管理
〒108-0014 東京都港区芝4-13-3 PMO田町東10F
Tel. 03-3457-1101

株式会社安田物産

事業内容/教育施設への食事の提供
〒242-0018 大和市深見西2-6-28
Tel. 046-261-9700

株式会社矢部プロカッティング

事業内容/園児制服
〒241-0821 横浜市旭区二俣川 2-85-2
Tel. 045-363-6871

横バス観光株式会社

事業内容/貸し切りバス
〒239-0836 横須賀市内川2-1-22
Tel. 046-833-4584

株式会社ワールドライブラリー

事業内容/世界の翻訳絵本レンタルサービス、販売
〒146-0091 東京都大田区鶴の木2-8-4
Tel. 03-6684-0845

研修事業部・研究部 活動報告



かえで幼稚園にて 手作りのアスレチックの前で

若手後継者のための保育勉強会

外部視察 in 広島 9月9日 学校法人有朋学園 かえで幼稚園 9月10日 広島大学附属幼稚園

「緑に囲まれ、伸び伸びと育つ」

もた自身と考え、熱中できる取り組みを大切に、行事を作られていることが伺えました。

遊びを通じた育ち・学び

2019年9月9日・10日の2日間、若手後継者のための保育勉強会の宿泊研修として、広島のかえで幼稚園と広島大学附属幼稚園の2園を視察させて頂くことが出来ました。参加者は17名でした。それぞれの園では、保育や施設の見学と園長先生との懇談の機会も有りました。見学後には参加者同士で、それぞれの気づき、各園の特徴や強み、工夫されている点などを伝え合い、実際に目で見て感じ、お話を伺うことで、今後の保育の参考になる点が多々ありました。

遊びを通じた育ち・学び

私たちが見学に伺った日は、運動会の競技内容の発表があった日でした。運動会という行事に向かう中で、子どもたちを感じて欲しい・育って欲しい願いを込め、また運動会当日までに、遊びの中で工夫や発見、それを共有しながら作りあげていく楽しさを経験できることなどが込められた競技への導入でした。保育者が決めていくのではなく、子ども



必要な分だけ、必要な水を

け自分たちの力でくみ上げる、水の大きさ、量について、水が汲みあがらないときは仲間と協力するなど、ひとつの行為に意味を持たせ広がりのある工夫も感じました。

園庭には、井戸があります。地下水は掘っても出ないかもしれないと言ふことで、水道の水を井戸風に作り、子どもたちが自分たちで使う分だけ、その中のひとつに、

られました。



木登りも子どもたちが登れるような工夫を

子どもが自分で育つていくことを念頭に、「待つ姿勢」と「受容する姿勢」がどの保育者からも強く伝わりました。職員の方々は、子どもたちへの言葉かけの際に、ばらまくような言葉は使わない、その代わり「手渡すような言葉を使おう」と申し合わせているという点と、保育者も環境のひとつ、「子どもが主役」が大前提となり、保育者はあまり目立たないようにされているとお話を伺い、保育者のあり方や心持ちなどのお話が印象的でした。

広島大学附属幼稚園

もりのようちえん

園舎の裏は山。頂上まで登るのに大人の足で15分ほどかかる山での遊びを大切に、子どもたちは生きる力を育んでいます。

森の管理



保護者とつくった森の遊具

大雨、異常気象などの観点から、「森の管理」も大切な視点であり、自然での遊びを保障する上で、安全対策についても園全体の取り組みとして考えていることもうかがえました。

(一部、園の資料より) (文責/研究部 後藤光葉)

免許状更新講習

秋期開催 10月26日・27日、11月2日 小田原短期大学

「幼稚園ナビ」の活用を！

10月26日・27日、11月2日の3日間、小田原短期大学を会場にお借りして、幼稚園教諭免許状更新講習を開催させていただきました。6月に大和市立渋谷中学校で選択の18時間、8月に鶴見大学で必修の12時間、9月に渋谷中学校で必修の12時間、そして10・11月に小田原短期大学で選択の18時間、計60時間の講習会を開催しました。小田原短期大学、鶴見大学、鎌倉女子大学より講師をお招きいただきました先生方には大変お世話になりました。その最後となる講習会は湘南地区(小田原協会担当)にお骨折りがいただき、無事に3日間終わることができました。土日にもかかわらず、早朝より夕方まで丸々1日の講習会開催は本当に大変なことであり、スタッフの皆さんありがとうございました。



大和市立渋谷中学校にて

若手例年より少ない受講生の数(60名程度)かもしれませんが、その受講生の内訳をみると、幼稚園が約半数、残りは保育園・こども園に勤務されている方でした。地域的にみると、横浜市からは1/3の20名程度、残り1/3は県内その他地区。そして残り1/3は静岡県からの受講生でした。

受講生にとっても1日6時間の受講は大変です。さらには午前・午後2回のテストもあります。昼休みになると、預けてきたお子さんが気がかりで電話をする受講生の姿も見受けられます。中には泊りがけで受講されている方もいたようです。私もこの免許状更新講習に携わって丸6年。総時間数にしておよそ200時間。すべての講習のスタッフとして携わりました。そこでいつも思うことがあります。この免許状更新講習は幼稚園を含む教員に義務化され、更新をしないと教壇にたてない状況(失効)になり、ある意味大変厳しい制度であります。一方、国家資格である保育士には、このような更新講習の制度がありません。

まして。どう考えてもおかしくないでしようか? 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の3つを合わせた通称「3法令」が、2017年3月に大きく改正され、2018年の4月から施行されています。つまり、3つの施設のいずれも「豊かな環境で安心・安全に育ち、小学校入学以降につながる質の高い教育が受けられる幼児教育施設」である必要があるならば、保育士においてもその質を維持するべく更新講習の必要性がありませんか? 甚だ疑問に思います。また近年ではこの更新講習制度が就活のネックになっているとも聞きます。つまり更新講習のない保育園での勤務を望んでいるというのです。更新講習の現場で一生懸命学ぶ受講生をみるたびにこの思いが沸々と湧いてきます。

さて、県連の10月の免許状更新講習から幼稚園ナビによる受付を開始しました。更には、そのナビでできることが拡大され、試験後の評価書(アンケート)回答も紙ベースからネットで回答していただく形に代わりました。県連事務局では、受講費の負担状況もナビから確認できる等、大幅に利便性、効率化が図られました。評価書もナビに自動的に

(文責/研修事業部長 田中伸宜)

https://navi.youchien.com/ 幼稚園ナビ

『コミュニケーションの大切さ、伝える力・聴く力でもその前に、思い出して』

すがすがしい秋晴れの中、会場となりました神奈川県立音楽堂には、早朝にもかかわらず、県内全域より大変多くの会員の皆様にお集まりいただき、大盛況の中開催されました。

はじめに、父母連・スキーツ由佳会長より、「一人の母親としての率直な気持ち」が非常に共感をよぶ、あたたかい挨拶があり、続いて県連・小澤俊通会長より「今年度10月より施行された幼児教育・保育の無償化の課題改善(本当の意味での無償化の実現)と子どもたちの未来がより明るいものとなるよう、家庭・幼稚園・地域社会で連携していく」との挨拶がありました。ご来賓の副知事・首藤健治様より、今日の幼稚園教育に対するご理解あるお言葉と共に「かながわ子ども未来プラン」のさらなる充実など、次の時代に確実なバトンをつなぐという、心強いご挨拶をいただきました。県議会議長 梅沢裕之様には、ご自身の経験を振り返り、幼児教育の大切さ、子ども同士だけでなく親同士のコミュニケーションの重要性をお話しいただきました。また、私立学校審議会会長・牧島功様には、グローバル化する中で、たくさん人の文化や個性を認め合う社会づくりのために、今何が必要か、などお話しいただき、様々な事



を見つめ直すきっかけをいただいたように思います。開会式が終了し、県連総務部次長・野末晃秀先生から「アンデイ」こと、安東弘樹さん(フリーアナウンサー)の紹介がありました。さわやかな笑顔の安東さんの登場に、元TBSアナウンサーでテレビでもおなじみということもあり、会場は大きな拍手が沸き起こりました。安東さんはとても気さくで明るく、会場はあつという間に安東さんの話に引き込まれました。



安東 弘樹さん(フリーアナウンサー)

今回の講演テーマの中にある「でもその前に、思い出して」とは何か?安東さんの幼少期の記憶に深く刻まれたエピソードが非常に大きく関係しています。安東さんは2歳頃に住んでいた家の間取りを言えるくらい、記憶力がいいそうです。(ご本人は謙遜して、記憶というより感覚が残っている、とお話されていました)特にその時々感じた感情は強烈に残っているそうです。安東さんは都合上、途中入園だった初日に登園拒否、門から先生に担がれて教室に入ったそうです。その時に履いていた長靴を先生に誉められたそうですが、「長靴と幼稚園に行きたくないという気持ちは関係ない!」と、意識を逸らそうとする先生に反発し、気持ちを全く切り替える事ができなかったそうです。このエピソードを聞いて、うちの子も同じだったと思われた方もいらっしゃるのでは無いでしょうか。ある時、粘土で制作をして先生に見せたところ、先生は掃除をしていてどうしても手を放せなかったからか、安東さんの粘土作品を全く見ず、「上手だね、すごいね」と言ったそうです。安東さんはとてもショックを受けたと同時に、今まで褒められた事に対しても疑念を抱いてしまいました。同じようなエピソードで、安東さんが熱心にお母様に話し掛けているのにお母様は新聞から目を離さず受け答えをされた事があつたそうです。このような出来事から、安東さんはどんな時も話を聞く時は「必ず相手としっかり対峙する」という事を徹底しているそうです。物理的にどうしても難しい時は「〜してから聞くね」など声をかけ、後になっても、必ず相手に100%意識を向け、目を見て会話するようにしているそうです。子どもへの感受性はとても豊かで繊細です。大人にとって些細な事も、子どもにとっては重大な事もあります。意識が自分に向いていない事を感じると、不信感を募らせます。だからこそ、たとえ一分でも全力で子どもに向き合う時間を作る事、そして子どもの気持ちに共感する事、感情を吸収してあげる事が非常に重要であると考え、ご自身も実践されているそうです。また、どんな時にもどのような相手にも、敬意や愛情を持って接するという事もお話されており、これは親子関係のみならず、夫婦、仕事、地域社会など様々な相手に共通して言えるとても大切な事だと感じました。



でも大切な事だと感じました。人は様々な事を忘れてしまいます。悲しい思いをした事も、いつしか自身も同じ事を誰かにしてしまう事もあります。お仕事柄、様々な業種、立場、年齢の方と接してきた安東さんの言葉には非常に重みがあり、母として、人としてハッとさせられ、自分自身を見直すきっかけにもなりました。昨今、SNSの発達により、コミュニケーションツールが増えているにもかかわらず、人と人との関わりが希薄になってしまっているように思います。コミュニケーションの原点ともいえる今回の講演は、非常に心に響くものでありました。このような機会に恵まれた事に感謝すると共に、皆様の今後にお役立ただければ幸いです。

(文責)神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 副会長 加々美京子



©ビッグ錠

「第35回全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会」報告

副会長 池田 清

令和元年10月28日・29日の両日にわたり和歌山市で開催されました。

●28日(1日目) 記念講演(智辯学園高等学校、智辯学園和歌山高等学校野球部名誉監督・高嶋 仁氏) 甲子園出場無名校を全国有数の常連・常勝校へと導いた高嶋氏。選手育成術と指導者としての透徹した教育理念を硬軟織り交ぜた語り口でお話し頂きました。監督の仕事は、 ①悔しさを教える ②信頼関係を築く ③自信を持たせる ④人の心を動かす言葉を磨く であるとのこと。



●行政報告(文部科学省初等中等教育局幼児教育課長・森友浩史氏) 「子ども・子育て支援新制度」がもたらしたものは、幼稚園の経営安定と保育施設との運営費面でのイコールフットリング(条件の同一化)である。そして「幼児教育の無償化」がもたらすものは幼保を問わない保護者負担のイコールフットリング。条件同一化のもと、未曾有の人口減少と人工知能(AI)社会の到来時代を生き抜く幼児教育のキーワードは、多様な保育ニーズへの対応と徹底的な現場の質向上にある、と力強くメッセージを発信して頂きました。

●29日(2日目) 4つの研究講座が開設されました。以下は筆者が参加した「研究講座3・経営」の報告です。講師は「杜の都労働コンサルタンツ高橋宮地合同事務所 特定社会保険労務士・高橋道枝氏」です。保育ニーズの多様化で職員の負担は増加の一途です。他方、現場は人材確保に汲々とする有り様です。働き方改革は喫緊の課題と言えます。就業の在り方、経営者として配慮すべき点となる重要事項を就業規則の中から拾い、考察し、幾多の問題提起をして頂きました。

当連合会会長小澤俊通が全日副会長として登壇し、パネリストの一人として会を盛り上げました。就業規則等関連規定集は後日、成果物として全国の加盟園の先生方にサンプルとしてお示し出来ることと存じます。全日のHPにアップされる予定ですので、その際は是非ご活用頂きカスタマイズして頂けると幸いです。来年度開催は福島県郡山市を予定しております。震災からの復興の様子をご提供いただけることでしょうか。是非、多くの加盟園の先生方にご参加頂けますようお願い致します。

「第33回関東地区代表者協議会」開催される

総務部長 鈴木 豊 司



去る11月7日・8日の2日間、栃木県宇都宮市にて、第33回関東地区代表者協議会が、「無償化元年・今こそ問われる幼児教育の質」とのテーマの下に開催され、当連合会からの小澤会長以下計11名を含む、関東地区会(神奈川県・群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県)の幼稚園団体役員及び行政担当官等、総勢100名強が参加しました。開催地の宇都宮市は観光立県の県庁所在地にもかかわらず、これまで訪問の機会に恵まれず、私的にも楽しみにしていた場所。開会式ではご来賓の栃木県知事・福田富一氏はじめ、多くの関係者方より餃子・ジャズ・お米等の様々なアピールを頂き、おのずと胸が高鳴ります。さて初日は文部科学省初等中等教育局幼児教育課長補佐・北川雅崇氏より、「幼児教育の無償化における今後の対応について」をテーマにご講演を頂き、幼児教育に関する最近のトピックについて伺いました。そして恒例の参加8県行政担当者による「私立幼稚園・認定こども園への支援状況」の報告より、各県独自の様々な施策についても伺いました。

2日目はご当地出身の玉川大学教授・大豆生田啓友先生による「幼児教育・保育の信と真」との講演を伺い、今後の幼児教育における展望と課題について学び、最後は地元浄土宗光琳寺副住職・井上広法氏のお話から、自らの考え方一つで将来得られる幸福感には大きな差が出る事を学びました。その他、意見交換会も開催され、専門分野のみならず、参加者間での文化交流にも花が咲き、今年も短い滞在時間ながら無駄のない、また意義深い協議会となりました。




祝 Pride of KANAGAWA

今年も嬉しいお知らせがありました。心よりお祝い申し上げます。

瑞宝双光章

学校法人ひまわり学園
 幼保連携型認定こども園
 ひまわり幼稚園
 理事長・園長
金子 禎 先生



解説 瑞宝双光章

国および地方公共団体の公務又は公共に
 対し、長年にわたり従事し功労を積み重ね、
 成績を挙げた方に贈られる。

事務局からのお知らせ

「床上マイクスタンドをお譲り下さい！」
 床上マイクスタンドが眠っている園
 がありましたら、ぜひお譲りいた
 だけませんか？
 県連で行われる総会や研修会などで
 活用させていただきます。

お問合せ先：県連事務局
 電話：045-440-3210
 メール：daihyo@shinshiyou.com

研修会報告

■ 研究部主催 ■ 研修事業部主催

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
9/ 2(月)	中堅教諭対象講習会	かながわ ようちえん会館	十文字学園女子大学名誉教授 平田 智久 先生	「あなたが変わると子どもが園が変わる」	39人
9/ 9(月)	若手後継者のための 保育勉強会	広島 かえで幼稚園	講師 9/ 9 広島かえで幼稚園 理事長・園長 中丸 元良 先生 9/10 広島大学附属幼稚園 副園長 佐野 育代 先生	自園と私立幼稚園の『保育の質の向上』に 繋がっていくように	16人
9/10(火)		広島 広島大学附属 幼稚園	コーディネーター 玉川大学教授・四季の森幼稚園園長 若月 芳浩 先生		9人
9/12(木)	資質向上セミナー 【乳児保育セミナー】	ヨコハマジャスト	非営利団体コードモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 先生	「これから求められる乳幼児の保育と 保育者の専門性」 ～過去・現在・未来を見通して保育を考える～第1回	62人
9/18(水)	特別支援教育研修会 兼10年経験者研修会	かながわ ようちえん会館	特定非営利活動法人発達支援機関 リソースセンターone代表理事 臨床発達心理士 上原 芳枝 先生	「集団適応が難しい子の不適切な言動を助長 する環境刺激を回避して子どもを伸ばす」	110人
10/16(水)	新規採用教員研修会	茅ヶ崎市 総合体育館	玉川大学TAPセンター 白山 明秀 先生	体験しようアドベンチャー教育 第2回	95人
10/24(木)	資質向上セミナー 【乳児保育セミナー】	かながわ ようちえん会館	非営利団体コードモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 先生	乳児期の遊びの中の学び	70人
11/ 5(火)	中堅教諭対象講習会	かながわ ようちえん会館	小田原短期大学准教授 望月 たけ美 先生	保育者のこれからの専門性 ～豊かな感性と表現をはぐくむ保育～	31人
11/13(水)	特別支援教育研修会 兼10年経験者研修会	かながわ ようちえん会館	特定非営利活動法人発達支援機関 リソースセンターone代表理事 臨床発達心理士 上原 芳枝 先生	「暴力・暴言を定着させずに子どもを伸ばす」	93人
11/14(木)	資質向上セミナー 【乳児保育セミナー】	ヨコハマジャスト	非営利団体コードモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 先生	乳児期の遊びの中の学び	61人
11/19(火)	若手後継者のための 保育勉強会	かながわ ようちえん会館	講師 わこう村 和光保育園 副園長 鈴木 秀弘 先生 コーディネーター 玉川大学教授・四季の森幼稚園園長 若月 芳浩 先生	「保育者の主体性を育む園運営」	34人

遊び環境で 子育て文化を創造する

自由自在な
保育環境づくりと
全身を使う
たくさんの遊具を
ぜひアネビーで
ご体験ください。



aneby 株式会社 **アネビー**
 www.aneby.co.jp
 03-3465-4828

Seagullkids

こどもの笑顔に勝る制服はない

園児服・体操服・通園アイテム専門店
株式会社 矢部スカッティンク

本社 〒241-0821 横浜市旭区二俣川 2-85-2
 TEL 045-363-6871 FAX 045-361-3085
 E-MAIL : yabepro@seagull-yabe.co.jp
 URL : http://www.seagull-yabe.co.jp

